

魅力ある新しい学校づくりがスタート

これからの学校づくりのビジョン

これからの学校では、これまでの教師主導の「教えられる学び」から子ども主体の「自ら獲得する学び」となるような授業を展開し、子ども同士の学び合いや多様な他者等との協働を充実させた教育活動を行っていきます。子どもたちは、学校という小さな社会の中で、多様な人と関わり合いながら課題解決に向けて学び合ったり、互いの考えを伝え合ったりすることを通して、自分の存在が認められることや、自分の活動によって変わるものがあったり、社会をより良くしたりできることを実感していきます。また、多様な考えに触れることで、自分の考えを深めたり、より良い解決策を導き出したりす

ることができず。こういったことは予測困難な社会情勢において必要な、未知なるものや正解のない問いに対して挑戦する姿勢や諦めずにやりきる態度の育成、持続可能な社会を担っていくこととする意欲の向上にもつながっていきます。

さまざまな場面で自分自身が選択したり、積極的に活動に取り組んだり、多様な人と関わり合いながら活動していく協働的な学びを充実させた、子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばす子ども中心の学校づくりを行っていきます。学校という教育環境も社会の変化に合わせて、変革して行く必要があります。



阿南第二中学校と 橋町中学校の再編

吉井小学校へのイノベーションスクールの導入

令和8年度から、吉井小学校において阿南市内のどの学区区からでも通うことができる小規模特認校制度を導入します。

吉井小学校では、「阿南発！イノベーションスクール」(革新する学校)の創造「子どもがつくる、一人ひとりの子どもが伸びる、みんなの学校」をコンセプトとして、これからの学校づくりのビジョンの実現に向けて取り組んでいきます。これまでの主流であった教師主導の一斉授業から探究的な学びを重視した、子ども主体の学びが展開できるように、授業改革を行っていきます。そのためにも子ども同士の伴走者としての教師の資質向上に向けた研修の充実や働き方改革も含めた教育課程の編成の工夫などに学校と協力しながら取り組んでいきます。



子ども主体の学び



教師主導の学び

※イノベーションスクールについての詳しい情報は、市ホームページ「小規模特認校(イノベーションスクール)」(左記2次元コード)に掲載しています。



今後の学校再編について

阿南市教育委員会が、令和6年9月に策定した「阿南市立小・中学校再編実施計画」では、具体的な学校再編案を提示し、関係者との合意形成を図りながら、より良い学校づくりをめざしていきます。

第1期(令和6年度～令和15年度)においては、以下の学校が再編の対象となる予定です。実施計画では、この1期(10年間)と2期(10年間)、3期(10年間)を合わせた30年間の計画となっています。

具体的な学校再編対象校(第1期 令和6年度から令和15年度までの10年間)

小学校	中学校
見能林小学校・津乃峰小学校	阿南第一中学校・加茂谷中学校
桑野小学校・山口小学校	
橘小学校・福井小学校・椿小学校・椿泊小学校	阿南第二中学校・福井中学校・新野中学校 (椿町中学校は令和7年度から阿南第二中学校に再編)
新野小学校・新野東小学校	

再編までの タイムスケジュールの目安

再編に向けての合意形成を含め、2年前後の協議が必要になります。

情報発信とフィードバック

学校再編に関する情報をホームページ(左記2次元コード)や広報あなん等を通じて発信しています。また、住民説明会や保護者説明会を開催し、情報提供や意見交換を行ってまいります。出された意見等についてもホームページや今後の学校再編の取組にフィードバックできるようにします。希望があれば、出前講座も開催します。出前講座の申込に関する詳しい情報は、ホームページに掲載しています。



学校再編に関する問い合わせ
教育総務課 学校再編推進室 ☎22-3299
email: kyousou@anan.i-tokushima.jp

昔と今の 学校の違い(例)



	昔	今
名簿や並び方	男女別	男女混合
ランドセルの色	黒・赤	さまざまな色
給食関係	牛乳はビンの容器 食器は金属や陶器(重い)	牛乳は紙パック 食器はプラスチック(軽い)
冷暖房器具	だるまストーブ、扇風機	ファンヒーター、エアコン
トイレ	和式	洋式、和式
学習関係	黒板への表示は OHP	黒板への表示はプロジェクター 1人1台タブレット端末

※ OHP (オーバーヘッドプロジェクター) …透明なシートに書いた文字や図表などをスクリーンに投影する装置です。

市立小学校・中学校位置図 計画策定時

- 凡例
●: 中学校
●: 小学校
●: 休校中

